

3 工事をしなくてもできる対策

① 浸水前に行う対策

ここでは、工事をしなくても、自分でできる浸水対策をご紹介します。

① 排水口をふさぐ ★★★

排水管が満水になると、排水口から水が溢れ出してくる場合があります。排水口に重しを付けておけば上がってくる水を止めることができます。

対策 トイレや洗面台、洗濯機、風呂場、台所の排水口を水囊(すいのう)*でふさぐ

*水囊:袋に水を詰めたものです。ご家庭にあるビニール袋で簡単に作ることができます。使ったあとは水を抜いて、ビニール袋は捨てることができます。



② 出入口をふさぐ ★★★

対策 玄関などを、土囊(どのおう)*1でふさぐ

※土囊を設置しただけでは水が入り込んでしまうことがあるため、掃き出し窓*2のサッシの間隙を養生テープでふさぐことで止水性を高めましょう。

※その他、価格は高いですが市販の止水板など、家庭でも取り付けが可能なものもあります。

*1 土囊:袋に土砂を詰めたものです。

土囊を無料で配布している自治体もあります。

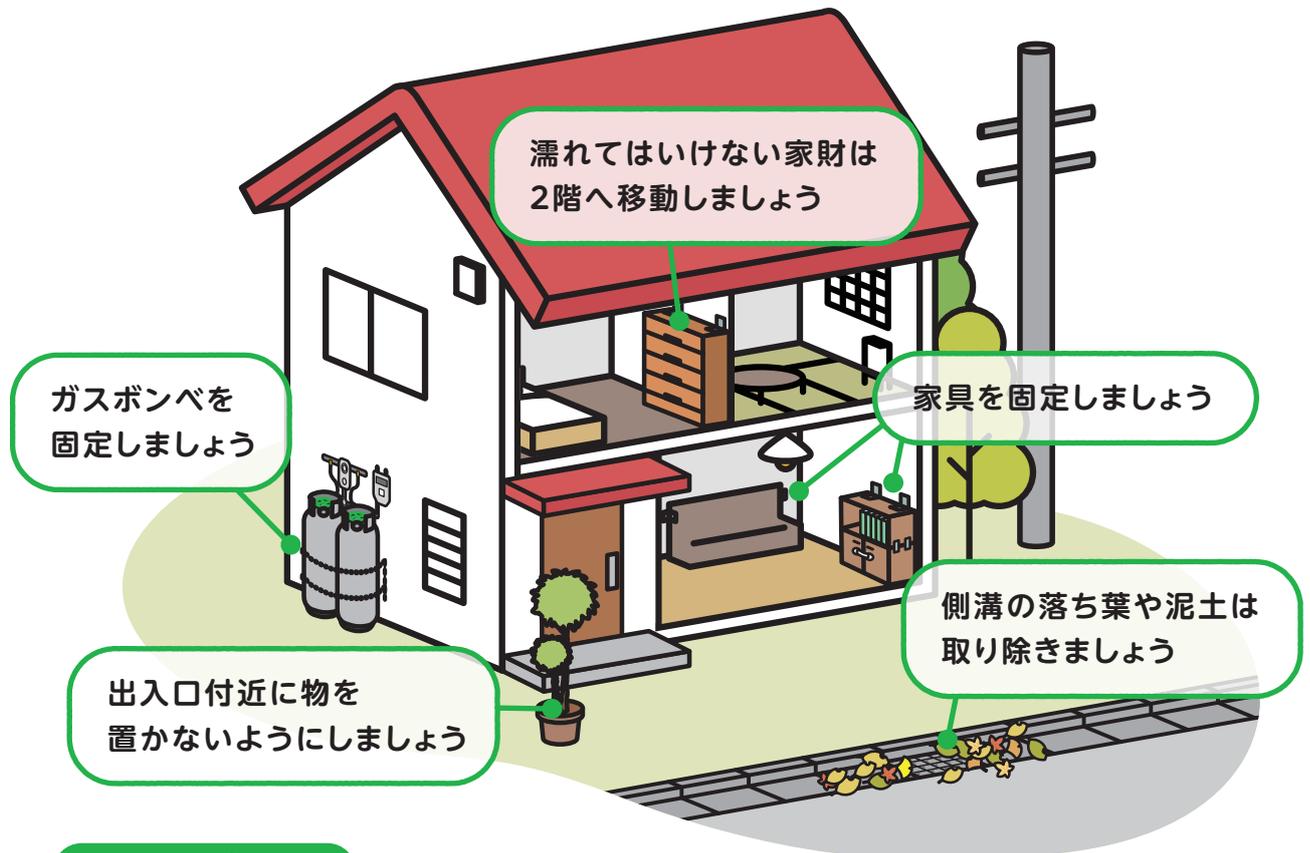
*2 掃き出し窓:窓の下のふちが床とほぼ同じ高さであり、外部(庭やバルコニー)に出入りできる窓



3 工事をしなくてもできる対策

② 家財や家の周囲の対策

住まいだけではなく、家財や家の周囲の対策も大切です。



チェックポイント

- 濡れてはいけない家財を2階に移動させているか。
- 家具は固定できているか。
(床上浸水すると、大型家電や大きな家具でも水の力で簡単に浮いてしまい、避難の妨げになる恐れがあります)
- 雨樋や側溝が詰まっていないか。
(葉などが詰まっていると上手く排水ができず、少量の雨でも水があふれる場合があります)
- ガスボンベを固定できているか。
- 出入口の周りに、自転車や植木鉢など出入りの支障となるものを置いていないか。